

# 学校週5日制

## ゆとり教育の実践で 子供の生活どう変化

**議員** 子供たちにゆとりをもたらすために平成十四年四月から完全実施となった学校週五日制だが、平日の授業時間の増加や土・日曜日の塾通い等で逆にゆとりがなくなっていると思うが見解は。

**学校教育部長** 週五日制の導入に伴い年間の授業時間は削減されたが、六時間授業の日が週に一日増えたため時間的なゆとりを感じにくくなった面はある。しかし、新学習

指導要領のもと、各学校が特色ある教育を展開したことで子供たちの主体的学習が増し、学習活動に対する精神的なゆとりが生まれたと考えている。

**議員** 子供たちにはどのような変化があったのか。

**学校教育部長** 小・中学生ともに家で過ごす時間が増えている。小学生は家族とゆとり過ごす時間が多く、中学生は部活動や友達との交流に費やす時間が多くなっている。

**議員** 全国では学校週五日制にとどまらず、さらに先進的な取り組みを行っている例もあるが、本市も独自の取り組みを行う考えはあるのか。

**学校教育部長** 現在の大きな課題としては、小・中学校が連携した一貫性ある教育の推進が挙げられる。すでに定例の校長会では来年度の重点課題として説明し、研究等が進むよう働きかけを始めている。



校門に「港ふれあいギャラリー」を設置…港小学校

取り組みを伺いたい。

**教育総務部長** 朝の声かけ運動のポスターや標語のプレートを作成・配付するとともに、「愛のパトロール」を実施している青少年相談室など関連部局と連携し、登下校時だけでなく一日中子供たちを見守る地域ぐるみの体制づくりに努めている。

**議員** 子供の健康な体づくりや食の安全性の面から、小学校の米飯給食を推進し、回数を増やすべきと考えるが見解は。

**教育総務部長** 本市では



みんなで楽しい給食(大野小学校)

米飯給食を平成十五年一月から週二回実施しており、県内平均は週二・一回、全国平均は二・九回である。回数増について

は献立内容の変更となるため、献立作成委員会で検討しなければならぬが、最近の給食調査によると米飯の残量が増加している。

**議員** 本市では毎年さまざまな囲碁のイベントを開催し、普及・発展に取り組んでいるが、「囲碁のまち」としてさらに全国に発信するために高校生との全国大会を開催してはどうか。

**市民部長** 総合計画で策定されているタイトル戦略の新設や木谷記念館の整備も含め、新たな事業と

してどのようなものが可能か研究していきたい。

**議員** 平成十七年一月、市民センター内に開設する(仮称)木谷寛ギャラリーの概要を伺いたい。

**市民部長** 広さ八五平方メートルの区画に木谷氏の紹介ゾーンと囲碁に親しむゾーンを設け、初心者でも楽しく囲碁が体験できるような施設となっている。

## 囲碁のまち平塚 新たな事業の検討は

ており、子供たちの嗜好傾向を十分見極める必要があると考えている。

**議員** 新鮮で安全な地産の農産物を学校給食に使用し、子供たちに地産地消の意義を伝えていくことは重要と思うが、取り組み状況を伺いたい。

**教育総務部長** 米については平成十六年十二月か

らすべて平塚産の新米を購入している。野菜については共同調理場で月ごとに二、三品目の平塚産野菜を使用しており、物資選定委員会でもできる限り平塚産野菜を選定するよう努めている。今後地産地消の理解を深めるよい機会として地産地消を推進していきたい。

# 学校・地域など連携した取り組み より大きな防犯効果を期待

### 子供の安全確保

**議員** 平成十三年六月に起きた大阪の池田小学校の児童殺傷事件以来、本市でもさまざまな学校安全対策を講じているが、平成十六年三月定例会で設置する旨の答弁があった学校等安全対策研究会

は設置されたのか。

**教育総務部長** 平成十六年一月に文部科学省は、学校・家庭・地域等の連携により子供の安全を確保するための方策等をまとめた「学校安全緊急アピール」を発表した。こ

れを受け、本市では三月に小・中学校の校長、教頭、幼稚園長の代表と教育委員会が学校等安全対策研究会を開催した。この中では、各学校の立地条件に合ったきめ細かな防犯対策や地域ボランティアの協力による警備等が議論された。今後もこの研究会を開催し、子供の安心・安全について継続して研究していきたい。

**議員** 登下校時の安全確保について、市としての取り組みを伺いたい。

また、地域の大人が積極的に・継続的に子供と触れ合う環境づくりを目的として「ふれあい通学路推進事業」を実施している。

**議員** 旭南自治会連合会では、平成十六年九月から住民による自主パトロールを開始し、地域と連携した学校防犯の取り組みを進めているが、他の地域の状況を伺いたい。

**教育長** 八幡地区では、地域と学校が協力して子

## 小学校給食の献立 米飯と地元農産物の使用拡大望む

「自分を守る力」  
養成する教育を

**議員** 子供たちに、危険に出合ったら、①「いや」と言う、②逃げる、③誰かに相談する、ことを学ばせ、自分で自分を守る力をつけさせる「CAP(子供・暴力・防止の英語の頭文字)教育プログラム」が注目されている。学校の授業に取り入れてはどうか。

**学校教育部長** CAP教育プログラムも実践した学校もあるが、各学校では特別活動の中で、「大声をあげる」「すぐ逃げ」「知らせる」のそれぞれの始まりの言葉「お・す・し」を指導し、子供自身が対応できる力を養っている。さらに、警察や県と連携して不審者侵入時の避難訓練を実施し、また校外で自分の身を守る方法を学ばせるなど、CAP教育プログラムと同様の考えを取り入れた指導を行っている。

議員 国の緊急地域雇用創出特別対策事業として市内の小・中学校に派遣されている学習支援補助員の十六年度の派遣状況を伺いたい。

**教育長** 平成十六年五月から市内の小・中学校四

## 学習支援補助員

### 市単独事業で派遣継続へ

三校の内、小学校二八校、中学校五校に四六人を派遣した。その後追加をし、十二月六日現在で六二二人の派遣となっている。

**議員** 国の事業は今年度で終了するとのことだが、十七年度以降の計画について伺いたい。

**教育長** 「サン・サンス」を改め、市単独事業として継続していく予定である。目的、内容は基本的に国の事業と同様であるが、市費での雇用となるため、雇用形態等は若干見直しが必要と考えている。学校とも十分協議をしながら進めていきたい。

## 市議会を傍聴してみませんか

### 次回定例会のお知らせ



- ・2月22日(火) 定例会本会議(提案説明)
- ・3月3日(木) 定例会本会議(代表・総括質問)
- ～8日(火)
- ・3月9日(水) 総務経済・都市建設常任委員会
- ～10日(木)
- ・3月11日(金) 教育民生・環境厚生常任委員会
- ～14日(月)
- ・3月22日(火) 定例会本会議 最終日

◇湘南ケーブルネットワーク(SCN)で定例会本会議の様子をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時(予定)から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時(予定)から9チャンネルでご覧ください。

## 編集後記



先日、地域の方と話をした中で「自然の猛威に対する無力だが、人間一人ではきりぬけられない」という組み合わせを訴え続けたいという何人も変わらない」という自然災害についての一言が印象的であり、まさにそのとおりと感じました。

昨年は、大きな自然災害が多発しました。今年度は安全との保証はありません。一人一人の災害に対するWQ(人間のやる気や意欲の高さを表す)を高め、日頃から地

域でのコミュニケーションを密にすることで、隣近所の助け合いが生じてくると思います。

なお本紙は今号から議員の本会議での主な質問項目の掲載を始めました。今後よりよい紙面づくりに努めますので、ご愛読をお願い申し上げます。

編集委員  
渡辺敏光 高橋紀英  
府川正明 鈴木晴男  
議長 陶山豊彦  
副議長 後藤輝彦  
☆ 事務担当は、議会事務局議事課調査担当、電話二三一一一一(内線二三六七)です。